

リバース工法

Reverse circulation method



クレーン1台施工



クレーン2台施工



テレスコクローラーによる施工

掘削孔は泥水による水頭圧により保護された状態で施工するため、ケーシングやベントナイトを使用せずに大口径・大深度の掘削が可能な工事です。先端のドリルの形状を変更することにより硬質地盤の掘削も可能です。

特徴

- 低騒音、低振動です。
- 大口径・大深度の施工にも対応可能。
- ドリルの先端孔よりロッド管を通じて排泥する工法なので、掘削中の孔壁を傷めません。
- 本体とロータリーテーブルの位置を自由に変更できるので、敷地形状への対応性が高い。
- 拡底作業ではサクションポンプによるスライムの回収が可能のため、高品質な杭築造が可能。
- また、オールケーシング工法との組み合わせにより短時間での拡底作業が可能（SHR掘削機併用）

